



2025年3月12日

各位

会社名 E・Jホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小谷 裕司
問合せ先 取締役企画本部長 金 声漢
(TEL. 086-252-7520)

英国オックスフォード大学発の Mind Foundry 社との戦略的業務提携についてのお知らせ

当社子会社の株式会社エイト日本技術開発（以下「EJEC」という。）は、2024年12月に、英国オックスフォード大学からスピンアウトして設立された AI 開発企業である Mind Foundry Limited 社（以下「MF 社」という。）と戦略的業務提携し、2025年3月6日に英国オックスフォード大学にて調印式を開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 背景

EJEC では、インフラ施設の調査・点検手法の高度化・効率化をはじめとした、インフラ施設整備や維持管理等を対象とした点検に供する各種ドローン（空中、水上）や、膨大なインフラアセット情報や点検結果等の管理のためのソフトウェアである「inMap」*1の開発、また、360度カメラで撮影した天球画像を用いて3次元空間を作成する「360EDITOR」*2、「Eye-Con360」*3の共同開発など、多くの商品開発を行ってきました。

一方、このような膨大なデータに対する業務効率・生産性の向上や、自然・社会環境の劇的な変化への対応など、今後、このような技術、商品開発を、より高度に進めるためには、AI技術の活用が不可欠な状況にあります。

かかる状況の中、昨年2024年3月に国土交通省主催で開催された日本-フィリピンインフラメンテナンスセミナー2024において EJEC が発表した「橋梁及び構造物維持管理における DX 技術」をきっかけとして、EJEC 社と英国 MF 社との戦略的業務提携により、一層の商品開発を共同で行うに至ったものです。

2. MF 社の概要

MF 社は、オックスフォード大学の機械学習の教授である Stephen Roberts 教授、Michael Osborne 教授により設立されました。MF 社は、AI の開発・運用を通じて、個人レベルから社会全体に影響を与える重要な問題の解決に取り組んでいます。特に、インフラ、防衛・国家安全保障、保険といった分野における最も深刻な課題に対応しています。

MF のソリューションは、個々の構造物からポートフォリオ全体に至るまで、インフラ管理における重要な課題解決を支援します。責任ある AI を活用し、運用コストを削減することで、長期的な価値を提供します。また、アセットオーナーやコンサルタントと連携し、AI システムの導入を通じて確かな成果を創出します。具体的には、構造物の長寿命化、維持管理コストの削減、点検業務の自動化、劣化予測によるリスク低減など、AI の活用促進を通じて、インフラの持続可能な管理を実現します。

MF 社概要

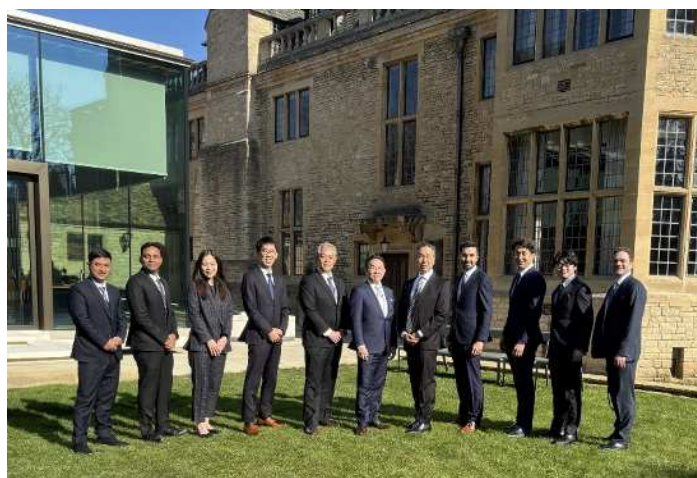
名称	Mind Foundry Limited
Website	https://www.mindfoundry.ai/
所在地	Ewert House, Ewert Place, Oxford, England, UK
代表者の氏名・役職	Jiro Okochi, Chairman and Interim Chief Executive Officer
事業内容	AI・機械学習プラットフォームの提供、AI の実務導入サポート
設立年月日	2015 年 11 月 20 日

3. 調印式

2025 年 3 月 6 日に英国オックスフォード大学にて行われた調印式には、EJEC より金 代表取締役社長他、MF 社より Okochi 会長含め主要役職員が出席し、MF 社の Okochi 会長、EJEC の金 代表取締役社長が、両社提携の狙いや今後の展望への期待を込めた挨拶の交換を行いました。EJEC の技術的知見やロボティクス技術と MF 社が誇る最先端 AI 技術を掛け合わせ、インフラ分野のみならず幅広い分野へ適用し、世界規模での価値貢献に向けて両社のパートナーシップを深めていくことについて双方で確認致しました。



(写真左：EJEC 金 代表取締役、写真右：MF 社 Okochi 会長)



(写真左側 6 名：EJEC 役職員、写真右側 5 名：MF 社 役職員)

4. 今後の展開

EJEC では、今後、社会インフラ分野や農林水産業分野等におけるロボット技術（ドローン等）やシステム開発への AI 活用などを対象として、MF 社と共同開発を進めていく予定です。

調印式と合わせて実施した双方の実務レベルの技術者間での議論を踏まえ、1st project として、MF 社の画像マッチング AI 技術を適用し、最新の点検画像と過去の点検調書から損傷箇所をマッチングして検出する、EJEC 社内向けの損傷判定支援システムを開発するとの方向性及び今後の具体的な活動について双方で確認しました。

本提携を通じ、当社グループの技術的知見と、MF 社が有する AI・機械学習の技術を組み合わせ、日本のみならずアジア地域等の海外市場への先進的なインフラソリューションの提供を進めてまいります。

なお、本戦略的業務提携が当面の当社業績に与える影響は軽微であると見込まれますが、今後、適時開示の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上

脚注：

※1 inMap：

デジタル化した膨大なインフラデータと位置情報を一元管理し、電子地図上で自由にこれらのデータにアクセス出来、かつ検索性にも優れたシステム

(URL：https://www.ejec.ej-hds.co.jp/web/wp-content/uploads/EJEC_inMap_002_a11y.pdf)

※2 KIMOTO 360：

全天球写真を組み合わせて 3D 空間を作成し、ストリートビューのように PC 上で簡単に現地確認が出来るとともに、各種ファイル（損傷写真や点検調書など）も添付・参照可能なシステム

(URL：https://www.ejec.ej-hds.co.jp/web/wp-content/uploads/EJEC_KIMOTO360_004_a11y.pdf)

※3 Eye-Con360：

360 度全天球写真に構造物の 3D データを重ね、計画初期段階におけるリアルなイメージの共有により速やかな意思決定の実現や、災害復旧などで迅速な対策方法の立案などを支援するシステム

(URL：<https://www.youtube.com/watch?v=agwo8sJuV3Q>)